

## メモリについて

### 3. Win95における最適メモリ容量 (資料参考:DOS/Vmagazine7月1日号)

Windows 95においてどのくらいのメモリがあればよいか。確かにCPUは早ければ早い方が、メモリはあればあった方がよいことはわかりきっていますが、実際LS550など現行のパソコンは1セットのみのメモリ増設しかできないわけですから、どのくらいあればということがわかっていればよいと思います。そこで、「DOS/Vmagazineの7月1日号」にいろいろな条件で測定された結果が掲載されていますのでご紹介します。

テスト環境はCPU 8種類 (i486DX2-66、i486DX4-100、Cyrilx5x86-120、AMDAm5x86P75-133、Pentium-75、Pentium-100、Pentium-133、Pentium-166) で、マザーボードは486系とPentium (Triton)、Pentium (Triton II) の3種類、メモリは8MBから64MBまでを測定しています。テスト内容は次の6項目です。実際の内容はDOS/Vmagazineを見てください、

#### ① Win95の起動時間

8MBしか搭載していない場合はさすがに遅いですが、12MB以上となればほとんど変わらず、むしろメモリチェックのためにメモリを増設した方が遅くなっています。それよりもCPUの性能による差が大きく出ています。

#### ② テキストファイル読み込み時間

読み込みの場合、16MBまでははっきりとそのメモリによる差が出ています。また、16MB以上になった場合はわずかに性能が上がっています。

#### ③ テキストファイルのスクロール時間

スクロールした場合、CPUにもメモリの容量にもほとんど影響されていないという結果が出ました。

#### ④ 画像ファイルの読み込み時間

画像ファイルは大きく、またJPEGのファイルであったためCPUメモリともその影響を受けています。メモリの場合その差は24または32MBまでが大きく、それ以上はあまり変化がありません。

#### ⑤ 画像ファイルのスクロール時間

画像ファイルをスクロールした場合、CPUはほとんど影響していませんが、メモリによる影響は大きく画像ファイルが10MBのためか16MBから32MBの間で非常に大きく、32MBのメモリでディスクへのスワップがなくなりそれ以上はあまり変化がありません。

#### ⑥ 画像ファイルの加工時間

CPU、メモリともその影響が大きく出ていますがディスクにスワップがなくなることによって処理速度は変化しなくなります。

Win95の場合、16MBのメモリがあれば画像ファイルなどを取り扱わないかぎり十分であるということが出来ます。

(情報誌トピックス)

○ 経コンビ 10月14日号

特集 「強い会社」のシステム哲学

全社一丸のシステム構築が成功の秘訣

→本来企業活動を支える「道具」であるはずの情報システム、あるべき姿にするにはどうすればよいかを「本業で強い会社」に見る

セミナー 電子マネー —基礎解説から実現手法まで

○ 経エレクトロニクス 10月7日号

特集 電力管理でパソコンが家電の一角に

→パソコンが家電として家庭に入るためにはいろいろな条件を満たす必要がある。1つは見た目が家電品と違和感が無いことであるが、使うときにすぐ使えること(5秒で起動)、より静かで、熱の発生が少なく、ノートの場合は電池駆動時間の延長など。実現するのが電力管理であり、マイクロソフトはインテル、東芝と共同でBIOSとOS間のインターフェースを策定し、OSに電力管理機能OnNowを組み込もうとしている。

ニューズレポート NTT、PHSによるOCNへの無線接続を提供へ

→OCN(オープンコンピュータネットワーク)へのアクセスポイントとして、アナログ用とISDN用に加えてPHS用を提供。最大29.2kビット/秒での接続が可能に

○ 経パソコン 10月7日号

特集 動く、音が出るインターネット

CD-ROMで理解する最新技術

→百聞は一見にしかずの通り、インターネットの現状をCD-ROMを使ってビジュアルで疑似体験が可能

ニューズトレンド Windowsのこれからの本流は95かNTか

→95と操作性が同じになり信頼性やセキュリティが強力なNT4.0の登場により、企業ユーザは95からNTへ移行するが、ノートのユーザは95のままとなる

○ LAN-TIME 11月号

特集 スイッチングHUB25機種比較評価テスト

→LANで用いられているHUB(集線装置)には、インテリジェント機能を持たず、あるポートから入力した信号をそのまま各ポートに増幅した上で出力するリピータHUBと、ポートに接続された端末のアドレスを学習することによって入力ポートと出力ポートを切り替えるスイッチングHUBとがある。複数のサーバがある場合、端末台数が増えることによる性能低下を少なくするために用いられるスイッチングHUBの比較評価テスト特集

特集 家庭内LANこと始め

→複数台のパソコンが使われることも考えられるようになってきている状態

で、家庭内LANはインターネットへの接続を含めて家庭内コミュニケーション、会社のLANとの接続など、今後がいろいろと考えられる。

○ **DOS/Vm:amaz:ine** 10月15日号

特集 そこが知りたい！インターネット

・・・賢く使うWWW、メール、FTP

→いろいろと話題になっているインターネット。しかし、実際に利用しているPCユーザは18.5%（編集部調べ）。この数値は多いというか少ないというか。接続量無料の「インターネットフリーウェイ」、NTTのOCNサービス、日本高速通信の「データオンデマンドサービス」など、環境が激変しようとしている。この期に再確認を含めてインターネットの特集

特集 ネットワークカードの定番を研究する

→「ザ・スタンダード」シリーズ小特集の1回目。ネットワークカードの基本から定番カタログまで

特別企画 Windows NT 4.0 速攻プレビュー

→12月に日本語版発売予定の最新版WinNTのプレビュー

○ **PCWAVE** 11月号

特集 鬼の居ぬ間の「CDレコーダー」

→実売価格が7万円台のものまで登場してきたCD-R。手軽に利用できる、大容量、長時間保存可能など改めて注目されている。基礎知識から、使い方、DVDまでを特集

特集 インターネット時代の多言語処理入門

→現在のWindows上では、英語以外の外国語の表示はできないが、インターネットによって受け取る言語は多言語となっている。実際に韓国語などを表示させる方法とマルチリンガルソフトウェアについての特集

○ **ASCII/DOS/V** 11月号

特集 Pentium vs Pentium Pro vs 6x86

最速200MHz CPUはどれだ

→Win95の場合、Pentium ProはPentiumよりも遅いのか、6x86はPentiumとさ仕替えできるのかなどWin95とWinNTの動作環境で得意/不得意を明らかにし、最速の200MHz CPUを検証する

特別企画 Microsoftの極秘プロジェクト「Pegasus」

→PDA用OS Windows CEの最新情報